

兵庫
県
保
険
医
協
会

西宮
芦屋

支部
ニ
ュ
ー
ス

No. 293

2011・2・25

発行

兵庫
県
保
険
医
協
会

西宮・芦屋支部

西宮市石劔町十八ー八

大森内科医院内

〒662
-0074

連絡先 兵庫
県
保
険
医
協
会

電話 〇七八(三九三)一八〇一

第23回日常診療ガイドライン

新ガイドラインを汗して体験

1月22日、兵庫県農業会館で協会研究部と共催の第23回日常診療ガイドライン「心肺蘇生法2010年ガイドライン」セミナー&実践体験練習を開催。医科歯科の開業医・勤務医ら36人と、医療機関・介護施設の看護師等やスタッフ56人、合計92人が参加した。

前半は、心肺蘇生法2010年ガイドラインの作成に関わられた帝京大学医学部名誉教授・日本蘇生協議会会長の岡田和夫先生が講演。2010JRC(日本

版)ガイドラインの変更点として、BLSは胸骨圧拍から蘇生を開始するというC-A-Bの順になったことが説明された。また、胸骨圧拍の質を維持するために、圧拍の早さや強さのポイントが詳説されるとともに、ALSにおいてはチームとして機動的に動く重要性などが強調された。進行は、日本BLS協会代表の青木太郎氏が担当した。

後半は、西宮市・あしだこども診療所院長の芦田乃介先生と、西宮市・ユニコの



新しい心肺蘇生ガイドラインについて解説する岡田先生



熱心に心肺蘇生の実技に取り組む参加者



参加者に心肺蘇生の実践指導を行う芦田先生(右)と村上先生(左)

森村上こどもクリニック院長の村上博先生がインストラクターを担当し、頭で理解していてもなかなか実際に使えないことが多い心肺蘇生法について参加者全員が実技を行った。参加者は額に汗して新しいガイドラインに沿った心肺蘇生法を体験。終了後にはガイドラインの変更点について活発な質問も出された。

新規開業医交流会

- 患者さんに好感をもたれる医院づくり -

日時: 3月5日(土)

17時30分~

講演

18時30分~

懇親会

会場: ホテル竹園芦屋 ※JR「芦屋駅」改札北側

講師: 株式会社日本医業総研 田中 徳一 氏

定員: 20人 事前申込制・開業3年以内の先生優先

参加費: 無料(懇親会でのご飲食代含)

司会: みやざきレディースクリニック 宮崎 義彦 先生

共催: 株式会社日本医業総研

第24回在宅医療研究会

日時: 3月12日(土) 15時~17時30分

会場: 西宮神社会館2階「福・寿の間」

西宮市社家町1-17 TEL0798-23-3311

講演 「在宅で多くみられる皮膚疾患
~予防やケア、専門紹介のポイント~」
西宮市・はらだ皮膚科院長 原田 晋 先生

話題提供

「在宅で役に立つ話」

甲子園訪問看護センター管理者 上原恭代 さん

「訪問看護師と学ぶ」

『介護職員等のための痰吸引研修』報告」

協和マリナ訪問看護ステーション管理者 渡邊幸子 さん

司会: 西宮市・つちやま内科クリニック 土山 雅人 先生

※上記企画のお申し込み・お問い合わせは、
事務局 岡林・山田・伊藤まで Tel:078-393-1817



手話通訳を交え、協会事務局が医療費についての疑問に答えた

主催者からは「日頃の疑問について考える視点が示されて良かった」「西宮市のマル乳が外来も中学卒業までに広がっていることは知らなかった」「来年は治療や予防のことで開催しよう」などの感想が寄せられた。

質疑応答では、「通院するたびに再診料がかかるのはなぜか」「ジェネリック医薬品とは」などの疑問をはじめ、保険者が発行している（GE使用促進の）「お願いカード」による医療費抑制の狙いや、医師と患者の信頼関係づくりにも話が及んだ。また「マル身の負担金が県ごとに異なること」や「病院と調剤薬局でそれぞれ負担金を支払うのはなぜか」「保険料と窓口負担の他に、国の医療費はどんな財源になっているのか」など、医療政策に関連した疑問についても活発な質疑が行われた。さらに兵庫県が福祉医療の所得制限をさらに厳しくして受給者を減らすうとしている動きも紹介された。

者の信頼関係に基づいた情報提供となっていない問題点などを解説した。また、保団連パンフを用いながら、EUとの国際比較でも日本の医療費は決して高いこと、診療報酬を改善することで国民生活も経済も向上していくことなどを説明した。

質疑応答では、「通院するたびに再診料がかかるのはなぜか」「ジェネリック医薬品とは」などの疑問をはじめ、保険者が発行している（GE使用促進の）「お願いカード」による医療費抑制の狙いや、医師と患者の信頼関係づくりにも話が及んだ。また「マル身の負担金が県ごとに異なること」や「病院と調剤薬局でそれぞれ負担金を支払うのはなぜか」「保険料と窓口負担の他に、国の医療費はどんな財源になっているのか」など、医療政策に関連した疑問についても活発な質疑が行われた。さらに兵庫県が福祉医療の所得制限をさらに厳しくして受給者を減らすうとしている動きも紹介された。

健康と医療について語り合う会 医療費についての疑問を解説 診療報酬改善が国民生活の向上に

1月29日、西宮市民交流センターで健康と医療について語り合う会を開催。ろうあ者や手話ボランティアら23人が参加した。これは阪神ろうあ団体連絡会（会長・末吉正朋さん）主催の「医療を考える会」に、協会事務局が話題提供を行ったもの。テーマ「医療費は高いのか？ 医院でもらう領収書・診療明細書について」を糸口に、公的な医療を保障する診療報酬の仕組みと、診療明細書に記載されている内容は患者の最大のプライバシーであるが、「情報開示」を口実とされ、医師と患

梅村聡参議院議員と懇談

1月16日、民主党の医系議員の梅村聡・参議院議員と懇談。伊賀幹二世話人、広川恵一世話人が出席した。

懇談では、インフルエンザワクチンのデータ収集の在り方や、ジェネリック薬品の推奨など、厚生省と医療現場との乖離について意見交換。また、窓口負担や医療費の財源問題などについて、フリーディスカッションを行った。

梅村議員は、超党派で議員を招いた医療制度に関する勉強会など、今後も西宮・芦屋支部との情報交換に前向きな意見を表明した。



梅村議員と今後も情報交換を行っていくことを確認した

世話人会だより

西宮・芦屋支部は1月28日に西宮医療会館で世話人会を開催。5人が参加した。

【予定・企画】

- ① 梅村聡議員との懇談会（1・16）
- ② 日常診療ガイドライン（1・22）
- ③ 健康と医療について語り合う会（1・29）
- ④ 第25回漢方研究会（2・5）
- ⑤ 新規開業医交流会（3・5）
- ⑥ 健康と医療について語り合う会（3・11）
- ⑦ 第26回在宅医療研究会（3・12）
- ⑧ 第16回医療過誤訴訟セミナー（3・19）
- ⑨ メディカルスタッフ勉強会（4・2）
- ⑩ 職員接遇研修会（5・28）
- ⑪ 第26回漢方研究会（6・4）
- ⑫ 第27回在宅医療研究会（7・16）
- ⑬ 第31回支部総会（7・23）
- ⑭ 西宮・芦屋支部設立30周年企画
- ⑮ 医師・歯科医師・スタッフのための英語で診療 Medical English #29
- ⑯ 梅村聡議員との勉強会
- ⑰ 審査対策研究会
- ⑱ 支部政策学習会

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

第16回医療過誤訴訟セミナー

日時：3月19日（土）15時～17時
会場：西宮市立勤労会館8階会議室
テーマ：「医事紛争を避けるために」
講師：米田泰邦法律事務所
弁護士 鵜飼 万貴子 先生
司会：西宮市・半田医院 半田 伸夫 先生

※お問い合わせは 事務局 岡林・山田・伊藤まで Tel:078-393-1817